

香川公的職業訓練効果検証ワーキンググループ開催結果（令和 7 年 2 月 13 日開催）

1. 検証対象となる訓練分野の選定

選定分野	選定理由
介護	介護分野は人手不足分野であり、訓練受講者の就職率が高水準であるものの、定員充足率が低いという課題がある。また、開講エリアが高松のみで西讃エリアでの開講が出来ていない課題もある。開講訓練コースの内容や効果を踏まえた受講勧奨の強化、訓練実施機関の開拓のため検証を行うことで課題解決を図りたい。

2. 検証対象となるコースの選定

種類	訓練コース	実施機関	訓練修了者	就職先企業
支援				
委託				
施設内				

※長期人材育成コースを除く

(ヒアリング担当)



県、高技、機構



労働局、安定所



労働局、安定所

○ヒアリング対象者の追加について

- ・実施機関については、過去に公的職業訓練を実施したが撤退した機関、働きかけを行ったものの認定申請に至らなかった機関も追加する（撤退した理由や申請に至らなかった要因等について聴取予定）。
- ・訓練修了者については、関連就職できなかった者も追加する。

○訓練修了者の選定にあたり留意すること

- ・同一の性別、年齢層の偏りが生じないようにする。
- ・中高年層、就職困難者、ひとり親、離職期間が長い、離転職を繰り返している等の履歴がある者をできるだけ 1 人は選定する。

3. ヒアリング方法・実施時期

ヒアリングシートを使用し、6～9月頃に訪問・電話・オンラインツール等で聞き取りを行う。

4. 訓練カリキュラムの改善促進（案）の策定

ヒアリングの結果を踏まえ、令和 7 年度第 1 回ワーキンググループにて効果・検証を行い、訓練カリキュラムの改善促進策（案）を令和 7 年度第 1 回香川地域職業能力開発促進協議会に報告する。

公的職業訓練効果検証ヒアリングシート（訓練実施機関）

訓練コース名	
訓練実施機関名	
訓練期間	
訓練内容・取得可能資格	
ヒアリング実施方法	訪問 ・ 電話 ・ W E B

○必須項目

- 1 訓練実施にあたって工夫している点
 - ・ 実習先の選定方法
 - ・ グループワーク、コミュニケーションのカリキュラム内容
 - ・ P C 操作などデジタルスキル関連カリキュラムの設定
- 2 訓練実施機関が行っているキャリアコンサルティングの状況
- 3 訓練実施にあたって国への要望、改善してほしい点

○その他

- 4 就職支援の取り組み（就職につながった事例、継続している取組、最近変えてみてよかった取組等）
 - ・ 就職後のミスマッチ防止の取り組み
- 5 受講者の傾向（受講理由など）
- 6 受講者確保の取組状況、工夫していること
- 7 介護労働安定センターとの連携・活用状況（就職支援等）

公的職業訓練効果検証ヒアリングシート（訓練修了者）

訓練コース名	
訓練実施機関名	
訓練期間	
訓練内容・取得可能資格	
修了者氏名・性別・年齢	
氷河期世代、就職困難者、育児介護中、ひとり親、離職期間が長い、離転職を繰り返している等、修了者の状況	
就職先企業・業種・職種・雇用形態	
ヒアリング実施方法	訪問 ・ 電話 ・ WEB

○必須項目

- 1 訓練内容のうち、就職後に役立ったもの
- 2 訓練内容のうち、就職後にあまり活用されなかったもの
- 3 就職後に感じた、訓練で学んでおくべきであったスキル、技能等
・PC操作などデジタルスキルの必要性

○その他

- 4 就職支援の中でよかったもの
- 5 実習、見学の希望の有無
- 6 訓練受講した理由

公的職業訓練効果検証ヒアリングシート（就職先企業）

訓練コース名	
訓練実施機関名	
訓練期間	
訓練内容・取得可能資格	
修了者氏名・性別・年齢	
就職先企業・業種・職種・雇用形態	
ヒアリング実施方法	訪問 ・ 電話 ・ WEB

○必須項目

- 1 訓練により得られたスキル、技能等のうち（募集リーフレット参照）、採用後に役立っているもの
- 2 訓練において、より一層習得しておくことが望ましいスキル、技能等
- 3 訓練修了者の採用について、未受講者（未経験者）の採用の場合と比較して期待していること（同程度の経験等を有する者同士を比較。採用事例が無い場合を想定で）

○その他

- 4 採用にあたって求めるデジタル系知識・スキル
- 5 人手不足解消のための取り組み（業務効率化の工夫点など）
- 6 訓練中の実習の希望有無
- 7 日本人介護人材に期待すること、求めるスキル
（2040 問題への対応策として外国人介護人材が増加している現状を踏まえた日本人介護人材について）